

吉城高校

○今後、どの学校でも定員割れが心配されることになるため、学校だけでなく、自治体・地域全体で考えていく必要がある。

○(YCK)プロジェクト、吉高地域キラメキと説明されましたが、地域の多くの皆さんに学校を知ってもらえる機会であり、また、生徒は自分の進路を考えるためにも良い経験になるのではないか。この活動をもっとPRすべきではないか。

神岡高校

○在校生は少ないが、それを最大限に生かした教育がされている。

○生徒たちは、われわれ議員を意識することもなく楽しそうに授業を受けていた。その中であいさつをしてくれる生徒もいたことに感心した。

2校に共通

○飛騨市の大切な学校として、多くの市民に現状を知っていただき、私たちも全力で支えなければならぬ。

○定員割れがあるが、生徒及び教職員からはそのことに

よる暗いイメージは感じられなかった。むしろ明るい雰囲気での授業の進み具合が印象に残っている。

○県立高校であり、議会の中でも話題が少なく、常に授業参観は可能というような情報が伝わりにくい。関係する人たちだけの高校となり、地域の高校であることが薄れている。

また、8月10日～11日に行った管外視察では、岡山県西栗倉村「飛騨市内に設立された、(株)飛騨の森でクマは踊ると市との関係を考えるため」及び滋賀県原市「いぶきグリーンエナジー(株)」廃材を利用した木質バイオマス発電」を調査しました。

西栗倉村

○共有の森ファンド（一口5万円、最高10口）を設立し資金を集め、林業機械等の購入にあてながら、百年の森事業を進めている。

○村に専門家を置き、説明会・懇談会を頻繁に開催し、住民と一体となった取り組みを評価する。

いぶきグリーンエナジー(株)

○飛騨市においても、豊富な

森林と森林に放置された間伐材等(バイオマスエネルギー)の利用を進めるべきだ。

○廃材利用の発電は無理。豊富な水を使った小水力発電を推進するべきであり、間伐材は生活に利用すべき。

○地域資源を生かし事業を起こすことは、小さなことでも地域に活気を生み出すことを強く感じ、日ごろから地域に対してアンテナを張る必要性がある。
などの意見がありました。この経験を活かし飛騨市の活性につなげていきたい。



発電プラント



山積されたチップ

12月定例会の提出議案等における各議員の賛否一覧

※これ以外の案件等は全会一致で可決等されています。

議 案 名 等	議 員 名	賛 成	反 対	前 川 文 博	中 嶋 国 則	田 中 清 安	洞 口 和 彦	野 村 勝 憲	後 藤 和 正	菅 沼 明 彦	内 海 良 郎	森 下 真 次	谷 口 充 希 子	天 木 幸 男	葛 谷 寛 徳	山 下 博 文	池 田 寛 一	籠 山 恵 美 子
意見第2号 安全保障関連法案について 慎重な運用を求める意見書	原案可決	12 : 2		○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○

※○は賛成、×は反対、棄は棄権、欠員2 ※議長は裁決に加わりません。但し可否同数の場合は議長裁決となります。

編集後記

昨年12月に「あかつき」が金星軌道投入に成功し日本初の惑星探査が始まる。また、油井亀美也さんが国際宇宙ステーションに「こうのとりのドッキングさせるなど宇宙分野での日本の存在感が高まっている。そんな中、ストックホルムにおいてノーベル賞の授賞式が開かれた。

梶田隆章先生は前日の記者会見で「私の次の夢は神岡からもう一つノーベル賞を出すこと」と語られた。先生のお人柄からファンも多く、テレビでも世紀の大発見番組にしている。宇宙の謎解きに注目が集まっている。重力波検出やハイパーカミオカンデ計画が開始し人々は宇宙の仕事みや物質の根源が解明される日を待ち望む。その波及効果で神岡町を訪れる人が増えている。今後先端科学都市構想が町にもたらす影響は計り知れず、研究と同時進行して発展できるように一日も早い整備実現が望まれる。

(後藤 和正)